

第29回「大津市図書館協議会」の会議結果

- 開催日時 令和5年3月23日（木）13時30分～15時20分まで
- 開催場所 大津市立図書館 読書室
- 出席者 委員9人・事務局8人・計17人
- 傍聴者 無
- 次第
 1. 開会
 2. 市民憲章斉唱
 3. 挨拶（今井会長）
 4. 挨拶（図書館長）
 5. 議事
 - (1) 令和4年度事業報告
 - (2) 令和5年度当初予算（案）の状況
 - (3) 令和5年度事業計画（案）
 6. 報告事項
 7. 閉会

- 会議の概要（発言内容については要旨を記載）

◎議事

〔議題1 令和4年度事業報告〕

・事務局説明

委員 活動目標3「魅力あふれるまちづくりを支える図書館」の主な取組み③「地域資料を活用した運営」について、課題と今後の展開として、「郷土資料及び行政資料の積極的な収集・整理・保存」と記されていますが、郷土資料、行政資料は、市民の皆様や行政関係職員の皆さんの政策形成活動など活用されることが重要です。今後、郷土資料及び行政資料の収集、市民等への活用についてどのように考えておられるのですか。

事務局 本館については、郷土資料はかなり資料数が少なく、今後、各地域や団体等に声をかけ、多く収集していくのが課題です。行政資料は市役所各所管課からの提供を受け、保存しています。また、電子図書館を活用し、行政資料等を電子データで登録し、広く市民に活用いただけるよう整備しています。また、今後、歴史博物館の資料を電子図書館上で活用できるよう、アーカイブの共有、連携を考えております。市民の皆さんが、ふるさとの歴史について調べたい、学びたいという要求に対し、図書館を活用していただけるよう、今後も資料の整備に努めてまいりたいと考えております。

委員 北図書館では、コロナ禍でもボランティア活動を活発にやっておられる。また、市民活動の中では、若い世代のボランティアが減っているようですが、どのような工夫をされたのですか。

事務局 新型コロナウイルス感染症が感染拡大する前にボランティアを募集しました。その後、館内の利用制限を強いる中での活動でしたが、地域協働を進める、参加されているボランティアさんの得意とするところを活動の主体として積極的に受け入れました。感染症対策を講じる中でしたので、活動日や時間は限定し、健康状態や活動体制に気を使いながら、通常の活動に近い形で実施していただきました。

委員 JR石山駅前広場のブックポスト設置は、令和5年1月からとのことですが、利用状況はどうですか。

事務局 図書館以外でのブックポストの設置は初めてです。今回は返却場所を増やすことで図書館利用につながるよう、図書館から遠方で、かつ、交通の利便性の高い場所に設置しました。毎週火曜日と土曜日に返却本を回収していますが、毎回80冊程度は返却されている状況です。主には、石山駅付近にお住いの方や、通勤等で石山駅を利用される方に、よくご利用いただいている傾向にあるようです。今後も、定着すればさらに利用頻度は高まるものと分析しています。

委員 私の20代の家族は、電車の各駅にブックポストを設置してほしいと言っています。県立図書館の本も市立図書館で返せるようにしてほしいです。本を返しに行くのは負担です。また、借りるときに利用者カードを使うのが古いと言っています。例えば、スマホで利用出来るようにしてほしいとの声がありました。若者層を取り込むには、これから必要なことと思います。

事務局 今年度より、来館しなくても、署名付きマイナンバーカードを活用して、市の電子申請サイトから利用カードの登録手続きができるよう整備を図りました。今後も、図書館サービスにおけるDXの推進に努め、少しずつではありますが、気軽に便利に図書館を利用できる環境を整えていきたいと考えています。

委員 本館のボランティアをしていましたが、コロナ以降は活動をしていません。ボランティア受け入れは館によって違うのでしょうか。

事務局 本館は規模が大きく、来館者も多い状況ですので、コロナ禍の期間、感染症対策を講じる中、慎重に取り扱いをさせていただきました。3館共通の取り扱いが基本ですが、今回は個別対応とさせていただきました。

委員 子どもさんの催しで、衣装などを着けて工夫して取組んでおられるようですが、市民の皆さんにもっと催し等アピールするにすれば、来館者も増えると思います。また、子育て世代だけでなく、子どもから高齢者まで幅広い利用者に寄り添うサービスを実施していただきたいです。

事務局 ご意見承りました。

委員 インスタグラム等で情報を入手している人へは、各図書館のサービスや催しが見

えると来館者が増えていくと思います。また、利用者の興味を引く展示の仕方は、すごく効果的だと思います。地域の人を図書館に呼び込むには、例えば北館では堅田の漁師さんにおすすめ本を選んでもらう、地域の助産師が性教育の本を選ぶというような、その地域の身近な方と連携して展示本コーナーをつくると、地域を知ることができたり、より身近に図書館を感じてもらえるのではと思います。

事務局 展示本の見せ方はすごく大事だと思います。ご意見参考にさせていただきます。また、情報発信につきましては、ホームページの他、市の広報への掲載、LINE等SNSを活用した情報発信を拡充していきたいと思っています。

委員 アピールの仕方、見える化、それぞれの館で工夫をしながら、来館者数、貸出冊数の増加に取り組んでいただいているようですが、1月末で目標値の80パーセントです。今年度最終の達成度はどのようなことになるか、その分析はしておられますか。

事務局 今年度、新型コロナウイルス感染症の感染対策を講じながら、貸出につながる催しを数々展開してきましたが、1月末で目標値の80パーセントという状況は低い結果であると思っています。この状況からいくと、年度末には目標値を達成できないと分析しております。減少の要因として、昨年度よりもコロナの制限が緩和されたことを受け、市民の皆さんが、身近な図書館に来館するというよりは、少し遠方へ出かけられる方が増えたのではないかと分析しています。また、電子図書の利用者が増加していることも来館者数減少の要因ではないかと思っています。

委員 図書館へ来て本に触れていただくことが大切だと思います。これからも、図書館のさらなる魅力発信と利用向上に努めていただきたいです。

〔議題2 令和5年度当初予算(案)の状況 及び 議題3 令和5年度事業計画(案)〕

・事務局説明

委員 電子図書の利用料、プラス50万円で、マルチライセンスの導入はありがたいです。一冊の電子図書で何人までとかの制限はありますか。

事務局 制限はないと聞いております。少なくともクラス単位での利用は可能であると事業者から回答を得ております。

委員 タブレットを使って電子図書にアクセスできると本を持ってなくてもいいので有難いです。

委員 幼稚園では、子どもたちは沢山の紙の絵本を見て感じて楽しんでいる状況です。幼稚園での絵本貸し出しが、子どもの読書活動の推進に繋がっていくのかなと思っています。今後も、図書館のセット貸出を利用するなど、幼稚園で取り組めること、子どもたちの読書環境整備の一助となるよう頑張っておきたいです。

委員 図書館費が教育費に占める割合が2.5パーセント、一般会計に占める割合が0.27パーセントになります。他の県庁所在地、例えば岐阜市では0.35パーセントです。この数字をどのように評価しておられますか。

事務局 図書館費、特に、図書館の資料費は以前に比べると安定しており、3,600万円から3,800万円を維持しています。令和5年度は3,832万円と対前年度より30万円アップしており、一般書、児童書等各目的に応じ、資料費を確保するよう努めており、その目的に対し予算措置された状況です。そのような中、本市は一人当たりの図書購入費は県内最下位となっておりますが、県内市町との人口の差は大きく、一人当たりの資料費を大きく上げること、人口に見合った資料費の大幅な確保は難しい状況です。一方で、開架スペースや書庫のスペースに限りがある中で、収蔵力にも限界があります。新規図書購入の一方で除籍作業を慎重に行なっていく必要もあります。

このように、予算も施設も限られた中ではありますが、より効果的な資料整備を進め、市民の読書要求に応じていけるよう、今後も予算の確保と図書資料の充実に努めていきたいと考えております。参考までに、中核市の中では真ん中くらいの順位です。

この状況を維持しつつ、少しでも高みを目指していきたいと思っています。

委員 令和5年度の事業計画を見ると、かなり攻めた取り組みだと思えます。図書館の新築は難しいでしょうから、現状でこんなに頑張っている、市民に対し様々な事業を展開していることを、市当局に示せるようにアピールしてほしいです。